

入退門管理システム



通門監視システムの概要



システム化による効果

- ◆ 車両及び搭乗者、歩行者の入退門を一括情報管理
保安室にてリアルタイムに同時確認が可能
入退を履歴として保存、必要に応じて確認が可能
- ◆ RFID(無線)タグを利用することによるコスト低減
パッシブ型タグを採用し低コストで電池不要
- ◆ 車両から降りることなく搭乗者を最大8名まで同時に認証
- ◆ 小型車から大型車まで様々な車両の認証可能

◆工場向けセキュリティー導入の目的

1. 防犯強化

工場には、日々多数の方が出入りします。通常構内で作業する方だけでなく、臨時入構の方も多数おり、人手による管理では、どうしても隙ができてしまいます。システム導入は抑止力として大変有効です。

2. 自然災害への備え

警報が発令された場合、安全地帯への避難を行います。避難完了を確認するためには、もともと何人いたのかを正しく把握しておく必要があります。入構者数の把握は災害対策において大変重要です。

3. 改正SOLAS条約への対応

米国同時多発テロを契機に海上人命安全条約(SOLAS条約)が改正され、500トン以上の貨物船が寄港する港湾施設(港湾を有する工場)に対しては、行政機関の指導で、立入制限区域の設定と、そこへの出入りチェック等が求められています。

◆工場向けセキュリティーメニュー(抜粋)

No	ソリューション		認証方式	ゲート方式/立入監視
	大項目	小項目		
1	境界セキュリティー	入退門(車輛)	車番認証、RFID、セキュリティーカード、ETC	センサー、バーゲート、ロードバリア
		入退門(人間)	セキュリティーカード	各種セキュリティーゲート
		周囲(塙)	トラップ式、赤外線、光ファイバー	センサー、カメラ、電気錠
		港湾	トラップ式、赤外線、光ファイバー	センサー、カメラ、電気錠
2	動線管理	構内	車番認証、RFID、カメラ	
3	入館管理	建屋	セキュリティーカード	電気錠
		工場	生体認証(指紋、顔、静脈)	電気錠、各種セキュリティーゲート
		部屋	セキュリティーカード、生体認証(指紋、顔、静脈)	電気錠
4	安全	危険域	エリアセンサー、カメラ、RFID、セキュリティーカード	電気錠、各種セキュリティーゲート
		操業監視	カメラ	
5	情報セキュリティー	端末	セキュリティーカード、生体認証	
		プリンター	セキュリティーカード、暗証番号	

工場向けセキュリティーはメーカーにとらわれず、お客様のニーズに合わせたソリューションを組合せ、「**工場のトータルセキュリティー**」を実現します。

お問い合わせ

日鉄テックスエンジ株式会社 電計事業本部

■営業部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル TEL : 03-6860-6630

■システムソリューション事業部 システム2部北九州システムグループ

〒805-8555 福岡県北九州市八幡東区前田1320-4 TEL : 093-288-5080

<https://www.tex.nipponsteel.com>